

# 令和3年度 予算のお知らせ

## 健康保険

### 経常収支で4億6,511万円の赤字予算となりました

#### ● 予算編成の背景

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、人々の健康、そして社会経済にも甚大な影響を及ぼしています。健保組合におきましては、少子高齢化や医療の高度化により、厳しい財政状況が続いているところですが、コロナの影響による保険料収入の減少は避けられず、更なる財政悪化が危惧されています。

健康保険組合連合会はコロナが与える健保財政への影響を公表し、健保組合の平均保険料率は令和3年度には10.2%に上昇すると試算しました。令和4年以降、団塊の世代が75歳以上となりはじめ、現役世代が負担する高齢者医療への納付金が急激に増加する「2022年危機」の到来を待たずに、多くの健保組合で財政悪化が一気に加速する恐れもあるとしています。

国民皆保険を堅持するためには健保組合の存続は不可欠であり、現役世代に偏った負担を是正し、全世代型の社会保障への転換が急務です。

#### ● 予算の概要

当健保組合の令和3年度予算は、総額58億7,853万円、実質的な収支状況を見る経常収支

で4億6,511万円の赤字を計上する非常に厳しい編成となりました。

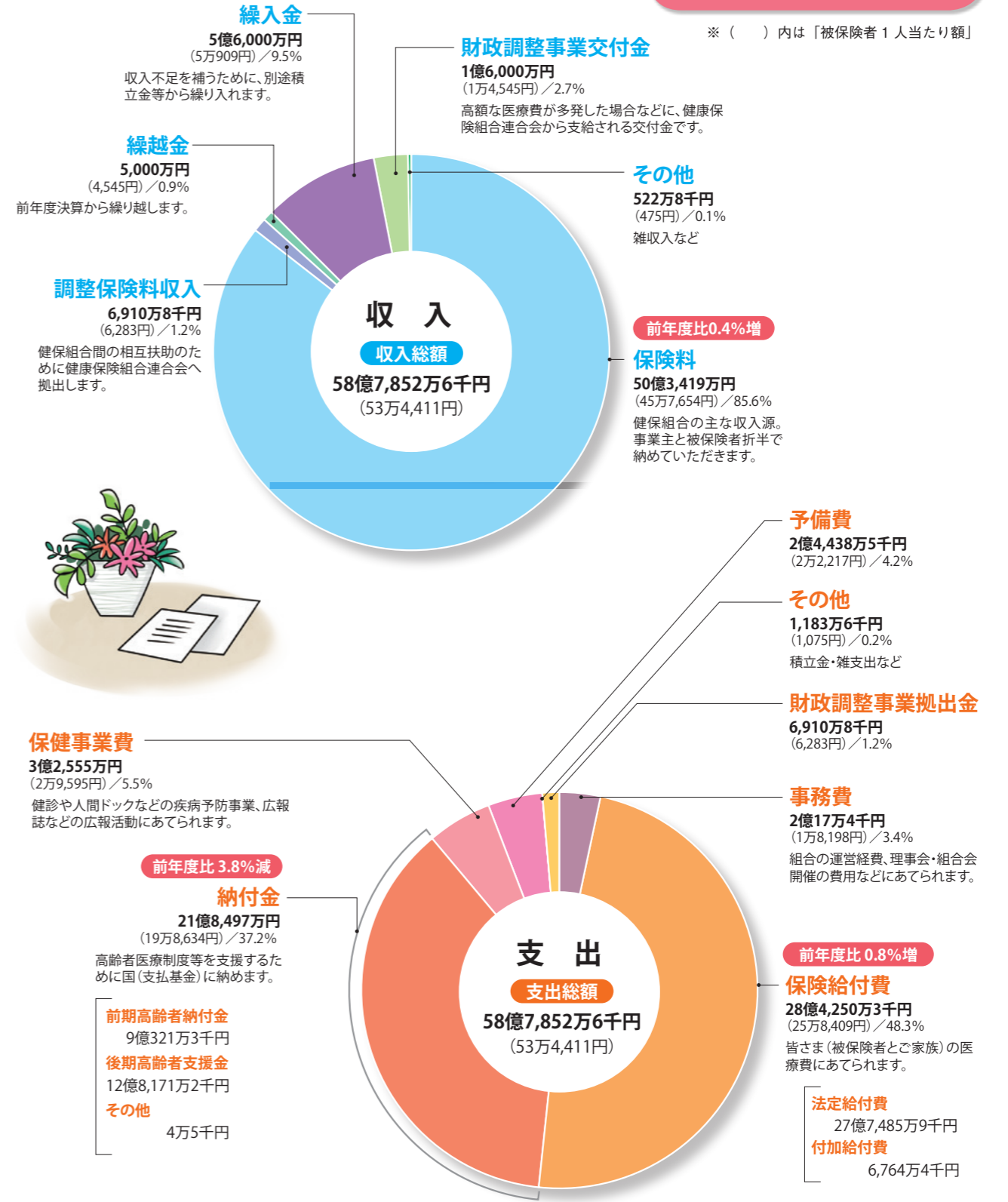
主な収入は、皆さまと事業主に納めていただく保険料で、50億3,419万円（前年度比2,044万円増）を見込んでいます。

一方、主な支出は、皆さまの医療費に充てられる保険給付費28億4,250万円（同2,264万円増）と、高齢者医療を支えるために国に支払う納付金21億8,497万円（同8,699万円減）となる見込みです。納付金は2年前の精算金により減少したものの、この2項目のみで保険料収入の99.9%を占める重たい負担となっています。収入の不足は、前年度決算からの繰越金や積立金からの繰入金で補填します。

当健保組合では、引き続き事務経費の節減に努めるとともに、被扶養者の資格確認や医療機関等からの請求のチェック強化、ジェネリック医薬品の使用促進などを推進してまいります。また、第2期データヘルス計画に基づいて、皆さま一人ひとりの健康に役立つ効果的な保健事業を実施し、中長期的な医療費の節減に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年度  
収入支出予算総額  
58億7,852万6千円

※（ ）内は「被保険者1人当たり額」



## 介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。令和3年度は、介護納付金6億5,821万円に対し、介護保険収入は5億3,970万円となる見込みです。収入の不足分は繰入金1億3,000万円を補填します。

### 収入

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	539,700	96,375
繰入金	130,000	23,214
雑収入	3	—
合計	669,703	119,590

### 支出

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	658,210	117,538
介護保険料還付金	1,000	179
積立金	1	—
予備費	10,492	1,874
合計	669,703	119,590